



**おいそうなうちわができました！**  
 ～西那須野図書館こどもまつり～

**西** 那須野図書館で8月7日と8日、西那須野図書館こどもまつりが行われました。クイズ、パネルシアター、大型紙芝居の読み聞かせ、工作会などのイベントに、夏休みの子もたちが集まりました。フルーツうちわ工作会では、スイカやキウイ模様のうちわを作りました。参加した後藤楓菜さんは、「少し難しかったけど、うまく作ることができた」と、上手にできたうちわを見せてくれました。



**本物そっくりの宝物できたかな？**  
 ～恐竜の爪のレプリカづくり～

**那** 須野が原博物館で開催された企画展「あつめてくられる化石図鑑」。8月8日には「恐竜の爪のレプリカづくり」のワークショップが行われ、36人の子もたちが参加しました。この日作ったのは、肉食恐竜のデイノニクスと草食恐竜のパキケファロサウルスの爪2種類。親子で参加した大原間小学校2年生の松本智哉さんは、「世界の恐竜マップを自分で作るほど恐竜が大好き。爪づくりは楽しかった」と笑顔で話してくれました。



**中学生が市長にまちづくりの提案**  
 ～みちたろうTOわくわくトーク～

**7** 月20日、市長と意見交換を行う「みちたろうTOわくわくトーク」が東那須野中学校で行われ、学区内の2つの小学校も同時にオンラインで参加しました。児童生徒からの提案や質問を市長と吉成伸一東那須野ふれあい推進協議会会長が受け、活発に意見を交換しました。児童生徒からは、市や那須塩原駅周辺の未来に向けて、環境に配慮したまちづくりや、活性化するために行いたいイベントなど、素晴らしい提案がありました。



1 生徒から市長や会長に、まちづくりへの提案や質問を行いました 2 会場からの質問に市長が回答 3 小学生は、オンラインで提案や質問をしました 4 5 オンラインで参加する大原間小学校と波立小学校の児童たち



**ARTでつながる思いを感じて**  
 ～企画展from Intimate Path～

**官** 民が連携しアートで地域を盛り上げるART369プロジェクト(右下QR)の一環で、7月16日から8月10日にART369spaceで企画展「from Intimate Path」が開催されました。昨年度、事業者アートの魅力を感じてもらいたいと行われたアートギフトお届け企画で、実際に貸し出した作品や関連アイテムを公開。眠る直前に見た最後の光を具現化した作品など、個性豊かな作品が人気を集めていました。



**離れていてもエールは届く！**  
 ～海外パラアスリートとオンライン交流～

**パ** ラリンピックの開催を目前に控えた8月23日、市内小中学校の児童生徒たちがオーストリアのパラアスリートとオンラインで交流を楽しみました。関谷小学校6年生の藤田紫帆さんは「メダルが取れても取れなくても選手みんなに楽しんでほしい。このような交流は将来はできないかもしれない。とてもいい経験になった」と笑みをこぼしていました。子どもたちからの応援に、選手も大きな力をもらったようです。



**チームでつかめ、日本一！**  
 ～国体リハーサル大会 ソフトテニス競技～

**い** ちご一会とちぎ国体のリハーサル大会として、全日本実業団ソフトテニス選手権大会が石川スポーツグラウンドくろいそで行われました。7月24日と25日の2日間にわたって繰り広げられた、日本のトップレベルの実力がぶつかり合う熱い闘い。ダブルスならではのパートナーとの息の合ったコンビネーションプレーが、心を躍らせてくれました。来年の国体本番では、さらに白熱した試合を見せてくれることでしょう。



**「伝えたい」と思う心が上達の近道**  
 ～イングリッシュサマースクール～

**す** べての小・中・義務教育学校にALT(外国語指導助手)を常駐配置している本市。その強みと夏休みの時間を活用し、ALTと子どもたちが交流を深める催しが行われました。小学生の参加者は、日本の昔話の内容や「あっち向いてほい」の遊び方などをALTに英語で教えることに。知っている言葉を最大限に使い、身振り手振りを交えて「なんとか伝えたい」と奮闘する姿や、言い合いが伝わって達成感に満ちた表情が見られました。